



川西小だより

笑顔で『 明るく 楽しく 元気よく 』

令和5年6月30日
富田林市立川西小学校
TEL 24-3107
FAX 26-2306

★児童数配布

『 き く 』 校長 山下 文博

最近ほんとうに時間の経つのが早く感じられます。明日からもう七月に入ります。残りの一学期、実際に登校する日は13日しかありません…。そんな中、5年生は「林間学舎」があります。初めての宿泊行事で、不安な気持ちがあるかもしれませんね…。でも、友達と過ごす二日間は、とてもいい思い出になると思います。今から準備しているバス内でのレクリエーションやキャンプファイヤーでの出し物、二日目の昼食づくりなど、みんなと協力し合っ、笑顔と元気があふれる二日間にして下さいね。それまでに規則正しい生活を心がけ、体調の方もしっかりと管理して下さいね。

さて、今年度もできる限り朝の登校時間に合わせて、校区を巡回（散歩？）しています。ほんの数十分のことなのですが、朝の挨拶をはじめ、毎日ほんとうにたくさんの児童から声をかけてもらっています。通学帽に何かを入れて歩いている子が「見て、かなぶん。」と。またある子は、右手をそっと握りながら歩いています。私の顔を見て、「だんごむし…。」と手のひらを開いて見せてくれました。また、ある子は、「昨日、小クワ（クワガタ）三匹捕まえてんっ！」と自慢げに話してくれました。また、ある子は、「今日帰ってから、いとこの家行くねん。」と嬉しそうにしました。他にも、「きのう髪の毛切ったん。」「きのう、焼き肉食べに行っ。おいしかったわあ。」「明日、誕生日やねん。」等々…。ほんとうにいろんなことを教えてくれます。どの子も、とても素敵な笑顔で話してくれます。大人にとってはほんの些細なことかもしれませんが、子どもたちはその時々で、誰かに話したい、伝えたい、きいてほしいという思いを持っているんだということがわかりますね。その子どもたちの思いを大切にするために、きく側がどんな態度や表情でその話を受け止めようとしているのかが問われるのではないのでしょうか。

ところで、「きく」といっても「聞く」と「聴く」があります。この違いってご存じかと思いますが、「聞く」は、音や声が自然に耳に入ってくることで、「聴く」は、意図的、積極的にきこうとすることだそうです。

また、「聴」の中には、「耳」だけではなく、「目」そして「心」が入っていますね。

私もできる限り、ゆっくりと最後まで話を『聴いて』ご家庭での場面やその時の状況などを想像しながら楽しくその時間を過ごしていきたいと思っます。

